

仙台市立富沢中学校・名取市立増田中学校 生徒の職場体験学習を実施しました

宮城第一信用金庫では、仙台市立富沢中学校、名取市立増田中学校からのご依頼により、平成30年10月から11月にかけて当金庫の各支店に生徒さんをお招きし、職場体験学習とマネースクールを開催致しました。この企画は、両校の2年生を対象とした民間企業等による「社会体験学習」の一環として実施されているものです。当金庫としては、今年で富沢中学校が9年目、増田中学校が3年目の受け入れとなりました。



【 本部の金庫室内 】

信用金庫の概要や取り組み、貨幣の歴史などの金融に関する講義のあとは、職員と同行でのポスティングローラー活動、出納機の操作、札勘等を体験いただきました。富沢中学校の生徒さんには、3日間の日程のうち1日、青葉区の本店にお招きし1億円（1万円札1万枚、重さ約10Kg）を持ってその重さを実感していただきました。また、当金庫の理事長との懇談の場を設け、生徒さんから「貴重な話を聞く事ができた」「マイナス金利など教えていただけ良かった」「コミュニケーションを大切にしている仕事だと学びました」「将来お金に関わる仕事に就いてみたいと思いました」等の社会体験学習の感想を伺いました。



今回の社会体験学習が、受講された生徒さんのお役に立てたことを役職員一同、とても嬉しく思います。講師となった職員も、今回受講された生徒さんは明るく元気で、講話や体験学習を積極的に受けており、手応えを感じておりました。生徒の皆さん大変お疲れさまでした。

なお、当金庫では、このような学校の職場体験学習への協力のほか、様々な地域貢献活動を推進しております。



【 菅原理事長と面談および講話 】